



知ること子どもがもっと笑顔になる

もしかして...と思った今が「最初の一歩」

困っている子どもたちを 理解するために

診断がつかなくても、生きづらさを感じながら生活している子どもたちがいます。
保護者として、学校・地域として、私たちにできることを一緒に考えてみませんか？

- 先生から“大丈夫”と言われたけど、どうしても気になる
- 集団が苦手だけど、発達障がいとは診断されなかった
- 家庭では落ち着いているのに、学校ではうまくいかない

講演会では、子どもたちの小さなサインを見逃さず、
「いま私たちにできること」を考えるきっかけをお届け
します。



司会進行

特定非営利活動法人すがもキッズ

代表理事：西村 学

略歴：大学卒業後、進学塾に約10年間講師として勤務。
1990年代、不登校児の急速な増加に伴い、通信制
高校と連携したサポート校の設立メンバーとして参画。
2008年、海外赴任者の子どもたちの学習支援のため
米国オレゴン州ポートランドに事業所を開設。2020年、
カンボジアの貧困地域の子子どもたちを支援するため
アンコールワットに事業所を開設。世界のどこへ行っても
「困っている子ども」に、気づけていない社会に危機感を
抱き、自ら心理学やカウンセリングに関する知識を深め
2022年より相模原市およびポートランド・シアトルで
講演活動を開始。著書に「トンビは鷹を産まない(仮称)」

著書推薦人：丹治康一《アメリカの児童発達専門医》

大人の視点で子どもを理解しようとするのではなく、子どものレ
ンズを通して世界を感じる大切さを教えてくれる一冊です。

「うちの子だけ？」と思ったら、ぜひご参加ください。
ひとりで悩まず、まず“知ること”から始めてみましょう。

公益財団法人 SOMPO 福祉財団 助成事業

【後援】相模原市・相模原市教育委員会・相模原市社会福祉協議会



支援の隙間で困っている子どもたちを理解するために

～学習困難児研究会2025～

小学生や保護者の方に知っていただきたいことがあります。

小学校4年生を過ぎると子どもたちの学力に大きく開きが生まれてしまいます。「友達の〇〇くんはできるのに、なぜうちの子はできないんだろう？」などと思う機会が増えていくことがあります。これらの原因は何でしょう…。学校ではキチンと先生の話聞いて勉強してるのに、一定の子どもだけができるようにならないのは、その子の発達に凸凹があるからかも知れません。

【会場】相模原市立 東林小学校

住所：相模原市南区相南 2-3-1

【第1回研究会 登壇予定者】

西村 学（すがもキッズ代表）

原野 聡美（前相模女子大学中高等部学校長）

大里 朝彦（前相模女子大学子ども教育学科 特任教授）

ゆいの（白百合女子大学発達心理学科在）

参加費無料

ご参加お申し込み

QRコード



2025 **7/26** Sat

10:00-12:00



小田急相模原駅から「徒歩 15分」
東林間駅から「徒歩 10分」

駐車スペースもご用意がありますので、
車でのご来校も可能です。

※数に制限があるので、予約が必要になります。

※敷地内での盗難及び事故等につきましては、一切責任を負いません。



相模原市 NPO 法人すがもキッズの「学習困難児研究会」は4年目の活動になります。「誰一人取り残さない」ために、また子どもたちが「well-being」であるために、子どもの特性を理解することの大切さをお伝えしています。学習困難児研究会は、活動4年目を迎え、延べ約500人の方にご参加いただいています。今では、日本だけでなくシアトルやポートランドでも講演会を開催させていただいております。また、今年の1月には新聞の一面にも取り上げていただきました。講演会の内容についても、毎回、重複しないよう更新しております。この機会に、ぜひご参加ください。

皆さまからお気軽にご相談いただけるように「すがも相談LINE」をご用意いたしました。研究会の情報なども配信予定です。ぜひ、ご登録ください！



～広報「すがもたより」発行しています～

過去の学習困難児研究会の広報誌を発行しています。今までのすがもキッズの活動に興味がある方は一読いただけるとより一層すがもキッズの活動を理解していただけることと思います。



【お問い合わせ】

特定非営利活動法人 すがもキッズ

〒252-0328 神奈川県相模原市南区麻溝台 6-18-1

TEL: 042-813-8558 (SweetEggs 近く)

mail: enishikawa@sugamokids.or.jp

【HP】 <https://sugamokids.or.jp/>



HPQR